

# サマーレビュー2018 調書

部局名 (課名)	土木部 (道路企画課)	
2 協議事項 (案件名)	中規模要望事業 (300 万円～5,000 万円) の対応について	
3 背景・現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より身近で柔軟な対応が可能な小規模要望事業は、平成 27・28 年度の補正を踏まえた平成 29 年度の執行により、解消が図られたことから、次年度より、中規模要望事業の内、公共事業優先順位基準に基づく、優先度判定「高」の未実施分の解消に取り組む。</li> <li>・これまでも、優先度判定「高」の事業を鋭意進めてきたが、調査設計から完了までに複数年 (約 2 年～5 年) を要することから、未実施件数が累積しており、地域からも早期実施への声が寄せられ、市民満足度が得られていない。</li> <li>・地域から提出される中規模要望件数は、年間約 230 件におよび、その内、約 50 件が優先度判定「高」である。平成 30 年 6 月末現在、優先度判定「高」の未実施件数は 530 件、残事業費は約 80 億円の状況である。</li> </ul>	
4 検討経過・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①未実施事業の内容を確認したところ、舗装新設・修繕、側溝改良など、比較的短期間 (約 2 年) で実施可能な事業は、438 件と全体の 83% を占め、箇所事業費も低く (300 万円～3,000 万円)、総額で約 50 億円である。</li> <li>②一方で、新規受付分の中には、防災対策等、緊急性の高い要望もある。</li> <li>③また、長期間 (約 3 年～5 年) を要する高額事業 (3,000 万円以上) は、予算平準化の考えのもと、計画的な実施が必要である。</li> </ul>	
5-1 方向性の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>①未実施事業の内、舗装新設・修繕、側溝改良など、比較的短期間で実施可能な事業 (300 万円～3,000 万円) を重点的に実施し、概ね 3 年間を目途に解消し、市民満足度の向上を図る。</li> <li>②豪雨時の道路冠水対策等、緊急性が高い事業を重点的に実施することで、地域の安全安心を確保する。</li> <li>③長期間を要する事業は、地域への状況報告を図ると共に、代替措置も含めた修正案の提示等により、確実な事業執行を図る。</li> </ul> <p>・中規模要望事業全体の円滑な進捗を図るため、詳細な実施計画を作成し、必要経費の確保について、財務部と今後調整する。</p>	
5-2 論点 (方向性の決定に向け議論する事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期間で実施可能な事業 (300 万円～3,000 万円) を重点的に実施する。</li> <li>・防災の観点を充分踏まえ、緊急性が高い事業を重点的に実施する。</li> <li>・地域への状況報告を徹底し、事業進捗が困難な場合は、事業の見直しを行う。</li> </ul>	
6 結果	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 提案どおり進める</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める</li> <li><input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul>	具体的内容  ・中規模要望の金額区分を更に細分化し (優先度と金額を勘案)、事業を進めること。
7 その他	(空欄)	